

世界平和を願って

非核平和都市宣言

世界の核をめぐる情勢は、核軍縮・核不拡散が国際社会の中で合意に至らず、大量破壊兵器の拡散が続ぎ、世界平和と人類の生存に深刻な脅威をもたらしています。

新生庄原市は、世界最初の被爆県に新しく生まれた都市として、核兵器のない平和で安全な世界を実現するために、7月1日、議会の議決を得て非核平和都市宣言をしました。

総務課 行政係 ☎0824-73-1123



庄原市非核平和都市宣言

永遠の世界平和の実現は、人類共通の願いです。

しかし今もなお、世界では地域紛争やテロの頻発など、人間の生命の尊厳を踏みにじる行為が繰り返される中で、核の小型化や拡散が進み、世界平和と人類の生存に深刻な脅威をもたらしています。

庄原市は、世界最初の被爆県の都市として、その惨状と被爆者の苦しみを思い、この地球上で再びヒロシマ・ナガサキの惨禍を繰り返してはならないことを強く全世界に訴えます。

私たち庄原市民は、生命の尊厳と平和の尊さを深く認識し、一刻も早い核兵器の廃絶と永遠の平和を希求し、ここに非核平和都市庄原市を宣言します。



青少年の健全育成と市街地の防犯に取り組むため、市民を中心とした「庄原地域市民パトロール」の皆さんが、市街地のパトロール活動を展開されています。

このパトロールには、青少年健全育成庄原市民会議 庄原支部の構成団体や庄原警察署、商店主有志のほか、庄原警察署管内防犯組合連合会、同少年補導協助手連絡協議会、同所在地連絡協議会などが参加。週末の夜を中心に市街地をパトロールし、若者への声かけも行っています。

7月8日(金)には庄原警察署で結成式が行われ、青少年健全育成庄原市民会議 庄原支部の寺岡敏夫さんか



第1回のパトロールに参加された皆さん

らあいさつがあった後、第1回目のパトロールへ。参加者の皆さんは、たすきや腕章をつけて懐中電灯を持ち、市内の大型店やその周辺をパトロールし、集まっている若者に早く帰宅するよう声をかけました。

パトロールは、今後も引き続き実施されます。地域ぐるみで青少年の健全育成に取り組むために、皆さんもぜひご参加ください。詳しくは、児童福祉課児童福祉係までお問い合わせください。

■児童福祉課児童福祉係 ☎0824-73-1192